

議案第34号

小田原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

[制定理由]

児童福祉法の規定に基づき、本市における乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるため制定する。

[内容]

1 最低基準の目的（第3条関係）

最低基準は、明るく衛生的な環境において、素養があり、かつ、適切な訓練を受けた職員が乳児等通園支援を提供することにより、利用乳幼児が、心身ともに健やかに育成されることを保障するものとすることとする。

2 最低基準の向上（第4条関係）

市長は、児童の保護者その他児童福祉に係る当事者の意見を聴き、乳児等通園支援事業者に対し、最低基準を超えて、その設備及び運営を向上させるよう勧告することができることとするほか、市は、最低基準を常に向上させるよう努めるものとすることとする。

3 最低基準と乳児等通園支援事業者（第5条関係）

乳児等通園支援事業者は、最低基準を超えて、常に、その設備及び運営を向上させなければならないこととするほか、最低基準を超えて、設備を有し、又は運営をしている乳児等通園支援事業者においては、最低基準を理由として、その設備又は運営を低下させてはならないこととする。

4 乳児等通園支援事業者の一般原則（第6条関係）

乳児等通園支援事業者の一般原則を次のように定めることとする。

(1) 乳児等通園支援事業者は、利用乳幼児の人権に十分配慮するとともに、一人一人の人格を尊重して、その運営を行わなければならない。

(2) 乳児等通園支援事業者は、地域社会との交流及び連携を図り、利用乳幼児の保護者及び地域社会に対し、当該乳児等通園支援事業者が行う乳児等通園支援事業の運営の内容を適切に説明するよう努めなければならない。

(3) 乳児等通園支援事業者は、自らその提供する乳児等通園支援の質の評価を行い、常にその改善を図らなければならない。

(4) 乳児等通園支援事業者は、定期的に外部の者による評価を受けて、その結果

を公表し、常にその改善を図るよう努めなければならない。

(5) 乳児等通園支援事業所には、事業の目的を達成するために必要な設備を設けるほか、その構造設備は、利用乳幼児の保健衛生及び利用乳幼児に対する危害防止に十分な考慮を払って設けられなければならない。

5 その他の最低基準（第7条関係）

1から4までに定めるもののほか、最低基準は、これらを考慮して規則で定めることとする。

[適用]

令和8年4月1日